

建設トッププランナー倶楽部

幹事会総会と特別講演会開催

建設トッププランナー倶楽部(文京区、和田章代表幹事、米田雅子代表幹事)は8日、東京都内で幹事会総会と特別講演会を行い、2012年度事業報告・収支決算、13年度収支予算を承認したほか、7月2日に第8回建設トップランナーフォーラムの開催などを盛り込んだ事業計画を決めた。総会後の特別講演会では国土交通省の深澤淳志大臣官房技術審議官が「今後の国土交通省の政策について」と題して話した。当日は加盟幹事46社のうち、40社が出席した。写真。



フォーラムについては、タイトル、開催趣旨、内容などが話し合われた。タイトルは「インフラの町医者をめざして」、開催趣旨は①地域建設業は災害が多発する日本列島の地域防災の最前線②地域建設業は老朽化する社会インフラを点検し維持する地域の町医者③地域建設業は複業により公共投資を産業創出につながる地域の総合企業」が提案され承認された。

内容については「太田昭宏国土交通大臣、林芳正農林水産大臣を招待」「さらに幅広く伝える広報策」などの意見を踏まえ、4月18日開催の特別講演会では、国土交通省の深澤淳志大臣官房技術審議官が「日本経済再生に向けた緊急経済対策」「12年度補正予算」「13年度予算」「社会資本の老朽化対策」について講演した。

この中で深澤技術審議官は、「公共事業関係予算が大幅に伸びたようにみられるがそこではない。よつやく下げ止まりしたに過ぎない」と強調した。その上で、「15カ月予算を一体的に捉え、切れ目のない執行をすることが求められる。特に防災・安全交付金は緊急対策費である。早く予算執行することが最も重要である」と述べた。

建設企業に敬意を表した上で、「日本国内のインフラは皆さまの力をかりなければもたない。予算の確保、体制づくり、法律の改正など問題意識を共有して進めていきたい」と語った。

現場で働く人に誇りを

太田国交相を表敬

建設トッププランナー倶楽部(文京区、和田章代表幹事、米田雅子代表幹事)の幹事会の代表は8日夕刻、国土交通省に太田昭宏国土交通大臣を表敬した。写真。米田



代表幹事がメンバー一人一人を太田国交相に紹介。国土交通行政の方向性、地域建設企業への期待などについて懇談した。

この中で太田国交相は、「建設業界は長年、過度のダイエットを強いられてきた。このままでは脆弱(せいじやく)な日本の国土を守っていくことができない」とした上で、「現場で懸命に働いている人が誇りを持っているような業界にしていきたい。それまでは歯を食いしばり、足で水をかきながら転換期での大事なかじ取りをしていきたい」と強調した。

また国道交通行政を支える予算編成方針については、「すでに45度のV字回復をする必要はない。まずは底を打つことである。そして15度ぐらいの回復基調を維持しながら、行き届いていない点は改善し、長いスパンで施策を組み上げ社会資本を守っていくことが重要だ」との考えを示した。

さらに地域建設企業の役割については、「い仕事をして、地域のモデルになってほしい。企業としての経営戦略が組めるようバックアップしていきたい」と述べ、同倶楽部の全国での活躍を期待した。

一向はこれに先立ち、農林水産省に林芳正農林水産大臣を表敬した。

「迅速な予算執行重要」

国交省・深澤大臣官房技術審議官

国土交通省の深澤淳志大臣官房技術審議官(写真)は、建設トッププランナー倶楽部(文京区、和田章代表幹事、米田雅子)が8日に東京都内で開いた幹事会総会の後に行われた特別講演会で行った緊急経済対策に関する講演した。

「12年度補正予算」「13年度予算」「社会資本の老朽化対策」について講演した。



国土交通省の深澤淳志大臣官房技術審議官(写真)は、建設トッププランナー倶楽部(文京区、和田章代表幹事、米田雅子)が8日に東京都内で開いた幹事会総会の後に行われた特別講演会で行った緊急経済対策に関する講演した。

図体